

No.	質問	回答
1	募集要領p.4にあるAI半導体の開発の定義について、ファウンダリにASICの製造を依頼する場合は該当するとの認識であるが、FPGAにて開発する場合は含まれるか。	ASICの開発は勿論のこと、FPGA等を用いた開発は含まれます。
2	この事業ではどの程度の内容が一般にいつ開示されるのか。	一般への公開を前提とした文書について定められたものではありません。ただし、中間または終了時などに成果報告をしていただく場合
3	助成金を受け取らない事業パートナーがいる場合は提案書に記載しなくてよいか。	提案書に付随する実施計画書の体制表へは、今回の助成範囲対象外としたうえで記載ください。
4	体制表にある事業者は一般に公開されてしまうのか。例えば、ベンチャーが中心となってやるときに、大企業が入っていたとすると、大企業の名前は公表されるか。	採択決定公表時には採択された助成事業者名とテーマ名を公開します。助成金を受け取らないパートナー名は公開いたしません。
5	提案書の体制表に、助成金を受け取らないパートナーを記載するとしても、研究者等の記載は不要と考えてよいか。	不要です。
6	締め切り日が5月8日となっており、対応がゴールデンウィークにかかるので、e-radとNEDOの稼働日について知りたい。	ゴールデンウィーク中においてもwebシステムは稼働いたします。e-Radの管理は別機関のため、e-Radヘルプデスクにお問い合わせください。NEDOの稼働日はカレンダー通りで、GW期間は5月1日、2日が稼働日となりますので5月3日以降にいただいたご質問への回答は遅くなることご了承ください。
7	e-radの登録は主たる研究員のみでよいか、全員の登録が必要か。	主たる研究員の方のみで問題ございません。ただし、各法人それぞれ1名以上は登録が必要です。
8	助成の補助率について、大企業1/2、中小2/3とのことだが、大企業が直接の助成対象事業者でその下に委託で中小が付く場合は、それぞれに1/2、2/3になるという理解でよいか。	下に委託がつく場合は、上位の助成先企業にて委託費として費用を積算いただき、全体に補助率がかかる形になるので、下に中小の委託先がついたとしても助成先が大企業であれば補助率は1/2になります。
9	例えば産学連携にした方が加点になるか。	産学に関して加点要素は設けていません。
10	賃上げ表明における加点の比率に人数や法人の数は関係するか。	加点の比率には関係いたしません。代表提案者が企業等であり賃上げしている場合に加点の対象となりますので代表法人以外で賃上げされていても、加点の対象とはなりません。
11	全社員ではなく、今回携わる研究員が賃上げとなっていれば加点の対象となるか。	ご認識の通りです。
12	半導体に加えてシステムを開発すると上限10億円とあるが、ここでいうシステムとはどの範囲までか。例えばLSIの回路をシステムと定義するのか、それとも半導体を使った上位のシステムのことを指すのか界面が不明。	ここでシステムというのはLSIの回路ではなく、半導体を用いた上位のアプリケーションのようなシステムを想定しており、開発したAI半導体を社会実装するために必要なシステムの開発とお考えいただきたい。
13	委託先から第三者への再度の委託は認められないとあり、委託、共同研究、助成対象といろいろな言葉があり、複数企業で申請する場合の建付けについて言葉の定義を含めてご説明いただきたい。	NEDOから直接助成金を交付する助成事業者、そこから紐づいた共同研究先・委託先があります。研究開発要素を含む実施項目については再度の委託は認めておりません。なお、委託先においても研究開発要素を含まない外注の費用は計上することができます。
14	NEDOの過去の成果を活用した場合は、体制表に記載した方が加点になるのか。	NEDO事業の成果を活用しているかどうかについての加点項目は設けておりません。
15	今回の目標としては、AIを用いたコンピューティングのエッジへの分散化に主体があって、単なる手段としての半導体化というよりも重きを置く軸足は温暖化対策といったことまで含むのか。	本プロジェクトではCO2排出量の削減をアウトカム目標として、AI半導体、それを用いたコンピューティング技術の開発により電力効率を向上させることをアウトプット目標としていますので、研究開発の主体としてはエッジ領域でAI処理を実現するAI半導体・システムの開発になります。
16	サービスの内容もプロジェクトがデザインされている場合はそこまで言及した方がよいのか、それともテクノロジーベースなのか。	提案書類として事業期間中の研究開発に関わる実施計画書と事業終了後の事業化に向けた取り組みに関わる企業化計画書を提出いただきます。サービスの内容等どのように事業化を行っていくかについて企業化計画書にご記載ください。
17	提出書類のプレゼン資料についてボリュームイメージ（開発詳細を含まるか）と用途（どこで使われるか、公開/非公開）、提出時期、などを教えて頂けますでしょうか。	文量、内容については指定していませんが採択審査委員会のプレゼンで使用することを前提にご作成ください。審査書類として扱いますので非公開、提案書等と合わせて公募締め切りまでにご提出ください。なお、プレゼン時間、委員からの質問を踏まえ必要に応じ更新した資料の提出時期等については公募締め切り後にご連絡させていただきます。
18	提案書をe-Radで登録後、不備などある場合、フィードバックを頂くことは可能でしょうか。	e-radの登録内容はNEDOにご提出いただいた提案書等と一致しているかについても確認させていただくため、e-radの登録のみを事前に確認することはできかねることご了承ください。